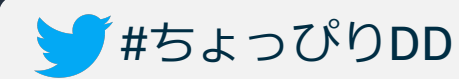


ももこの今月のお勧め 5分間アップデート

アップデートはどこで確認できますか？



<https://aws.amazon.com/jp/blogs/news/tag/週刊aws/>

<https://aws.amazon.com/jp/new/>

Amazon Web Services ブログ
Tag: 週刊AWS

週刊AWS - 2021/2/15週
by Masato Kobayashi | on 22 FEB 2021 | in General | Permalink | Share
みなさん、こんにちは。AWSソリューションアーキテクトの小林です。先週のアップデートを振り返ってみたいと思います。

Read More

週刊AWS - 2021/2/8週
by Akira Shimosako | on 15 FEB 2021 | in General | Permalink | Share
みなさん、こんにちは。ソリューションアーキテクトの下佐粉です。今週も週刊AWSをお届けします。エンジニアのための施設AWS Loft Tokyoは現在休館中ですが、Loftで実施していた対面式の技術相談コーナーであるAsk an Expertが、現在はオンラインで参加いただけるようになっています。そして、今週初の試みとしては2/19(金)にDB、分析、コンテナのエキスパートが終日相談に応じるSpecial Expert Dayを実施する事になりました。私は13時、14時、15時台に当番しておりますので、データレイクやDWH on クラウドで相談したいことがありましたら、ぜひこちらの案内に従ってご参加ください。(なお利用にはAWS Loft Appが必要ですが、まだ登録されていない場合、利用登録には約5営業日程度かかりますのでご注意ください) それでは、今週の主なアップデートについて振り返っていきましょう。

Read More

週刊AWS - 2021/2/1週
by Masato Kobayashi | on 08 FEB 2021 | in General | Permalink | Share
みなさん、こんにちは。AWSソリューションアーキテクトの小林です。秋ぐらいに健康作りのために運動を始めた、というポストをしました。自分自身の今までの傾向としては、2ヶ月くらいでブームが過ぎ去って飽きてしまうパターンが多かったのですが、今回はなんとかが継続することができています。今回継続できている理由は、モニタリングをしっかりやっていることなのか、となんとなく思っています。Bluetoothでデータを吸い上げアプリで可視化できる体組成計と血圧計を購入し、毎日データを取るようになりました。また、フィットネストラッカーを利用して運動量をトラッキングしています。これらによって日々の状況を把握し、運動量が不足していそうなら素早くアクションをとることができます。平日頃からのモニタリングと可視化が大事なんだな、という実感を覚えている今日この頃です。

Read More

週刊AWS - 2021/1/25週
by Akira Shimosako | on 01 FEB 2021 | in General | Permalink | Share
みなさん、こんにちは。ソリューションアーキテクトの下佐粉です。今週も週刊AWSをお届けします。すっかり寒くなりましたね。私の場合、ゲームや動画の視聴を減らす機会が少なくなっていました。

aws
お問い合わせ サポート 日本語 アカウント 今すぐ無料サインアップ

製品 ソリューション 料金 ドキュメント 学ぶ パートナーネットワーク AWS Marketplace カスタマー支援 イベント さらに詳しく見る

AWS の最新情報

AWS は、お客様が最新のテクノロジーを利用して実験し、より迅速に革新できるように、新しい機能を絶えず追加しています。最新情報記事は、AWS がそれをどのように実現しているかをお伝えするもので、AWS のすべてのサービス、機能、およびリージョンの拡大発表がリリースされるたびに、それらの概要を提供します。

AWS 最新のイノベーションについては、以下のページをご覧ください。

RSS フィードで購読する 2021年の発表をすべて表示する

注目の発表 | 最近の動画 | すべての発表 | その他の資料

aws INNOVATE AI / 機械学習の最新情報や導入事例、ベストプラクティスを AWS のエキスパートが解説
2/24 (水) オンラインで無料開催！相談コーナーもご用意。 [詳細を見る >](#)

今週注目の発表

AMAZON CLOUDFRONT SECURITY SAVINGS BUNDLE のご紹介 本日、Amazon CloudFront Security Savings Bundle を発表します。これは、1年間にわたって月間最低使用量を確保いただくことと引き換えに、CloudFront の請求額を最大 30% 節約できる柔軟なセルフサービスの料金プランです。 2021年2月5日	AMAZON VIRTUAL PRIVATE CLOUD (VPC) で ELASTIC IP アドレスのリバース DNS のカスタマイズが可能に Amazon Virtual Private Cloud (VPC) では、Elastic IP (EIP) アドレスのリバースドメインネームシステム (DNS) ルックアップを簡単にセットアップして、Eメールの配信性を向上させることができます。 2021年2月3日	AMAZON S3 で AWS PRIVATELINK のサポートを開始 Amazon S3 は AWS PrivateLink のサポートの提供を開始し、仮想プライベートネットワーク内のプライベートエンドポイントを介して S3 に直接アクセスできるようになりました。 2021年2月2日
--	--	---



RELATED LINKS

[About AWS](#)[Global Infrastructure](#)[What's New](#)[AWS in the News](#)[Events & Webinars](#)[What is Cloud Computing?](#)[AWS Free Usage Tier](#)[AWS Blog](#)

参考ページ

「Administer AWS Single Sign-On from a delegated member account in your organization」

<https://aws.amazon.com/jp/about-aws/whats-new/2022/05/aws-sign-on-administer-delegated-member-account-in-organization/>

公式ページ「管理アカウントのベストプラクティス」

https://docs.aws.amazon.com/organizations/latest/userguide/orgs_best-practices_mgmt-acct.html#best-practices_mgmt-use

このコンテンツは選択された言語でご利用いただけません。選択された言語でコンテンツをご利用いただけるよう現在準備中です。ご不便をおかけしますが、しばらくお待ちください。 ✕

Administer AWS Single Sign-On from a delegated member account in your organization

Posted On: May 12, 2022

[AWS Single Sign-On](#) (AWS SSO) now supports centralized administration and API access from an AWS Organizations delegated administrator account for all member accounts in your organization. This means you can designate an account in your organization that can be used to centrally administer all member accounts. With delegated administration, you can adhere to [best practices](#) by reducing the need to use your management account.

AWS SSO is where you create, or connect, your workforce identities in AWS once and manage access centrally across your AWS organization. After enabling AWS SSO in your management account, you can designate a member account from the AWS SSO console. Administrators can sign in to the delegated member account to assign users and groups to applications and to your organization's member accounts. No additional set-up is required within the organization's individual member accounts.

Delegated administration removes the requirement for you to use your management account to assign access to member accounts. By using this feature, you can adopt an AWS security best practice that recommends delegating responsibilities outside of your management account where possible. To get started, see the following list of resources:

- [AWS Single Sign-On](#)
- [AWS SSO Getting Started Guide](#).
- [Getting started with AWS SSO delegated administration](#)

RELATED LINKS

[About AWS](#)[Global Infrastructure](#)[What's New](#)[AWS in the News](#)[Events & Webinars](#)[What is Cloud Computing?](#)[AWS Free Usage Tier](#)[AWS Blog](#)[AWS Careers](#)[AWS Training](#)

このコンテンツは選択された言語でご利用いただけません。選択された言語でコンテンツをご利用いただけるよう現在準備中です。ご不便をおかけしますが、しばらくお待ちください。 ✕

Amazon VPC now supports multiple IPv6 CIDR blocks

Posted On: May 13, 2022

Amazon Web Services (AWS) announces the launch of multiple IPv6 classless inter-domain routing (CIDR) blocks in a Virtual Private Cloud (VPC), enabling customer to attach up to 5 prefixes to their VPCs. Before today, customers could add up to 5 IPv4 CIDR blocks and 1 IPv6 block. With this new feature, customers can now use multiple blocks to build logical separation within their VPCs with independent CIDR blocks. CIDR blocks can be associated from the Amazon provided pool and/or a pool of bring-your-own IPv6 addresses.

With IPv4 customers needed additional CIDR blocks to increase their address space within a VPC. With IPv6, address space should no longer be a concern. Customers can use multiple CIDR blocks to better segment their network infrastructure such as subnets, route tables, and security groups with different prefix ranges for different applications. With the ability to BYOIP, customers can launch one subnet from their own BYOIPv6 pool and another subnet with Amazon provided IP addresses. With BYOIP pools having the option to not advertise to the internet, customers can use these separate CIDRs to achieve clear separation of internal and external facing applications in their VPCs.

This feature is available in all AWS commercial and AWS GovCloud (US) Regions at no additional cost. For more information, please visit the VPC [user guide](#).

参考ページ

「Amazon VPC now supports multiple IPv6 CIDR blocks」

<https://aws.amazon.com/jp/about-aws/whats-new/2022/05/amazon-vpc-multiple-ipv6-cidr-blocks/>

Amazon EC2 が Amazon マシンイメージ向けに CloudWatch Events のサポートを追加

投稿日: May 9, 2022

Amazon EC2 は、作成、登録、登録解除などのさまざまな Amazon マシンイメージ (AMI) アクションについて、Amazon CloudWatch Events に通知を送信するようになりました。CloudWatch Events (CWE) を使用すると、これらの変更に応じてプログラムによるアクションを開始するルールを確立できます。

この機能は、AMI システムイベントのほぼリアルタイムのストリーミングを配信し、プッシュ通知を有効にします。お客様は、CloudWatch Events を使用して、AMI インベントリの更新、AMI の共有、コピーの作成、AMI を使用したインスタンスの起動など、AMI アクションの後に実行されることが意図されている次のステップのアクションをトリガーできます。ルールを使用すると、これらのイベントは、AWS Lambda 関数、Amazon SNS トピック、Amazon SQS キュー、Amazon Kinesis ストリーム、その他の組み込みターゲットなど、さまざまなターゲットにルーティングできます。

この機能は、すべての AWS リージョンでご利用いただけます。AMI 向けの CloudWatch Events の詳細については、[こちらのドキュメント](#)を参照してください。

参考ページ

「Amazon EC2 が Amazon マシンイメージ向けに CloudWatch Events のサポートを追加」

<https://aws.amazon.com/jp/about-aws/whats-new/2022/05/amazon-ec2-cloudwatch-events-support-amazon-machine-images/>

Amazon EBS Snapshots Archive が追加のリージョンで利用可能になりました

投稿日: May 3, 2022

Amazon EBS Snapshots Archive がアジアパシフィック (ソウル)、アジアパシフィック (大阪)、カナダ (中部)、および南米 (サンパウロ) の各リージョンで利用可能になりました。2021 年 11 月、90 日以上保持する意向でも、アクセスすることはほとんどないという EBS スナップショットのストレージコストを最大 75% 節約するために役立つ EBS Snapshots Archive の提供が 17 の商用リージョンで開始されました。EBS Snapshots は増分的な性質を持っているため、最後のスナップショット以降の変更のみを保存します。これは、頻繁にアクセスする必要がある日次および週次バックアップのためのスナップショットのコスト効率性を高めます。数か月ごと、または数年ごとにアクセスするスナップショットがあり、法律上または規制上の理由からそれらを長期的に保持したいという場合は、EBS Snapshot Archive を使用して、標準階層で保存する場合に発生するコストよりも低いコストで完全なポイントインタイムスナップショットを保存することができます。

EBS Snapshots Archive 階層のスナップショットの最小保持期間は 90 日です。スナップショットをアーカイブすると、EBS ボリュームの作成に必要なすべてのデータが含まれる完全なスナップショットアーカイブが作成されます。スナップショットアーカイブからボリュームを作成するには、そのスナップショットアーカイブを標準階層に復元してから、通常と同じ方法を使ってスナップショットから EBS ボリュームを作成します。

料金と利用可能なリージョンの完全な情報については、[こちら](#)をご覧ください。EBS Snapshots Archive の詳細については、[テクニカルドキュメント](#)を参照してください。この機能は現在、Sinnet 運営の Amazon Web Services 中国 (北京) リージョン、NWCD 運営の Amazon Web Services 中国 (寧夏) リージョン、および AWS アジアパシフィック (ジャカルタ) リージョンを除くすべての AWS 商用リージョンでご利用いただけます。

参考ページ

「Amazon EBS Snapshots Archive が追加のリージョンで利用可能になりました」

<https://aws.amazon.com/jp/about-aws/whats-new/2022/05/amazon-efs-snapshots-archive/>

公式ドキュメント

https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/AWSEC2/latest/UserGuide/EBSSnapshots.html

第十九回 「アップデート紹介
とちょっぴり Dive Deep する
AWS の時間」

2022年6月23日 (木) 16:00 - 18:00 オンライン開催 (ライブ)

クラウド移行とモダナイゼーション データベースマイグレーション 編

6/23 (木) 16:00～18:00

お申し込みページはこちら

<https://pages.awscloud.com/APAC-field-OE-JP-ISV-CH-DD-20220623-reg-event.html>

Thank you